

【留学・英語授業・外国語教育に関する Q&A】

Q1 留学制度にはどのようなものがありますか

A 長期留学プログラムとして、アメリカのウェスタンミシガン大学派遣留学プログラムがあります。短期海外研修として、8～9月に実施されるサマースクール（イギリス、ケンブリッジ大学・ペンブルックカレッジ）と、2～3月に実施されるスプリングスクール（オーストラリア、ボンド大学）があります（いずれも日本大学本部主催）。また、日本大学本部主催の交換留学制度も利用可能です。（2021年度は、コロナウイルス感染症拡大のため、中止となりました。）

Q2 ウェスタンミシガン大学派遣留学プログラムについて詳しく教えてください。

A ウェスタンミシガン大学は 1903 年創立の州立の総合大学で、デトロイトやシカゴから車で 2 時間程度のミシガン州カラマズーに位置します。毎年 8 月から翌年 5 月までの派遣留学プログラムとなります。2019 年度までの留学プログラムとしては、①ウェスタンミシガン大学正規課程履修コース、②ウェスタンミシガン大学附属英語学校 (CELCIS) 語学研修コースがあります。①のコースの参加には、TOEFL 等の英語試験の一定のスコアが必要です。学内での選考は毎年秋に実施されます。

なお、今後のプログラムについては、上記と変更になる場合があることをご了承下さい。

Q3 どのような英語授業があるのか気になります。英語のカリキュラムを教えてください

A 危機管理学部が掲げるポリシー（方針）のうち、「国際教養人としての感性」と「グローバルに行動できるコミュニケーション能力」の開発は、英語科目の学修のゴールとして認識されているものです。英語のカリキュラムでは、この能力の養成を目的に、英語の四つの技能をバランス良く指導しています。「話す」「書く」という「アウトプット」の力を身につけるために、外国人講師がコミュニケーション重視の授業を展開し、「聞く」「読む」というインプットの力を身に着けるために、日本人教員が文法や読解を丁寧に教える授業を行っています。必修科目として、1 年次と 2 年次に 1 週間に 2 コマの授業を開講しています。

Q4 外国人の先生の英語授業について詳しく教えてください

A 当学部では、外国人の先生が4名常駐しています。習熟度別に分けられた上級のクラスでは、週2回の授業は外国人の先生が全て英語で行います。中級から初級のクラスでも週1回は外国人の先生の授業を受けますので、必修科目として学生全員が「生きた英語」を学習することになります。また、英語で気軽にコミュニケーションをとることのできる「国際交流センター」を学内に設け、学生が授業外でも英語を話すことのできる環境を整えています。このセンターには、学生は自由に入出入りすることができます。授業や課題の質問をしたり、担当の先生以外にも気軽に話しかけたりできるようなアットホームな場所です。

Q5 少し英語が苦手なのですが、英語の授業の雰囲気はどうですか

A 外国人講師の授業は、大変フレンドリーな雰囲気です。気負わず積極的に発言できるように、間違いを気にせず学生同士でリスペクトを持つことのできるよう、外国人講師がきちんと指導します。コミュニカティブな授業展開で、学生同士の親睦が深まり活気もあります。一方で、日本人教員の授業は、「インプット」をじっくり行っていく授業です。文法項目の整理・確認を行い、TOEICの教材を使用したより実践的な授業を行います。必要であれば初歩的なレベルにも合わせて丁寧に指導し、「使える英語」に結び付く英語の基礎学力を身に着ける授業を行います。

Q6 必修科目の授業以外で、英語に力を入れた取り組みを教えてください

A 英語力を高めようと思えば、2年次以上を対象に、専門科目の教員が担当する「専門英語コミュニケーション」や「専門英語プレゼンテーション」の授業があります。これらの授業では、危機管理に関連する英語講演・ストラテジックコミュニケーション・国際的発信力について学びます。また、外国人講師も担当する「英語演習」では、専門書レベルの英文を読み、グローバル化するキャリアに対応できるビジネス英語を学ぶなど、研究や就職へとつながるカリキュラムを用意しています。このほか、当キャンパス限定の「DMM英会話」オンライン講座や、短期と長期の海外留学制度もあり、充実した英語の学習環境を整えています。

Q7 TOEICの試験対策はどのように行われていますか

A 当学部では、2年次の英語必修科目でTOEIC試験について学びます。内容はTOEIC L&R (Listening & Reading) Test 対策が基本ですが、上級クラスではTOEIC S&W (Speaking & Writing) Test 対策も行います。授業は習熟度別に分けられており、上級クラ

スは外国人講師が、中級と初級クラスは日本人教員が担当し、学生のレベルに応じた適切な指導を行います。また、年に2回、学期末に TOEIC L&R IP テスト（団体特別受験）を行っておりますので、学内で且つ一般公開受験の半額程度の費用で受験することができます。

Q8 外部試験によって、英語科目の単位は認定されますか

A TOEIC、TOEFL、IELTS、英検などの試験を受けて、一定の基準を満たした場合は（2年以内に受験したものが対象）、「英語Ⅰ～Ⅷ」、「コミュニケーション英語1～4」などで単位として認定しています。実際に単位が認定され、学生の受講科目が免除されると、他の授業の勉強などに充てる時間が増えるなど時間を有効活用することができます。

Q9 英語以外にも外国語を学びたいですが、どんな授業がありますか

A 三軒茶屋キャンパスには、中国語と韓国語の講座があります。ネイティブの先生と異文化を体験しながら、より楽しく語学を学ぶことができます。

Q10 そうした外国語を勉強することで取れる資格はありますか

A 例えば、韓国語のクラスでは、2年間で3級と準2級のハングル検定試験に向けた合格へのテクニックや戦略を学び、資格を取得することができるよう、体系的に語学力を身につけることができます。